

令和7年度入学試験 出題の意図

選抜区分： 一般選抜第2期

科目： 簿記

出題の意図

基本的な問題、標準的な問題および難易度の高い問題をバランスよく出題することにより、複式簿記に対する理解度や応用力等を見ることを意図しました。

大問番号	大問別 出題の意図
問題 1	収入印紙と切手の購入、売買目的有価証券の購入、伝票に記載された取引、為替差損益、約束手形の更改に係る、基礎から難易度の高い取引の処理についての理解度をみる問題です。
問題 2	財務諸表の構成要素間の関係について、基礎の理解度および応用力をみる問題です。
問題 3	売上原価の算定における勘定口座を作成することにより、売上原価を仕入勘定で算定する方法と売上原価勘定で算定する方法の勘定口座への記入について理解度を見る問題です。
問題 4	現金過不足勘定について、理解度と題意に即し解答する力をみる問題です。
問題 5	本支店会計における残高試算表から、決算整理を行い、貸借対照表の作成および段階利益の計算を行うことにより、本支店会計、基本的な決算整理、および、貸借対照表の作成と損益計算書の区分についての理解度と応用力をみる問題です。